

京都芸術大学附属高等学校（通信制課程） 英語・国語教員（2024年4月着任）の募集について



「ええかげん、変わりたいわ。」

この一言は、本校を受験したひとりの生徒が、つぶやいた言葉です。

やりたいことを見つけたい。

苦手なことにチャレンジしたい。

ホントは「もっとガンばれる」って思ってる。

モヤモヤした自分から本当の自分へ、いいかげん、変わりたい。

そんな風に思っている生徒が、ほんとにたくさんいます。

私たちは、2019年に開校したばかりの、まだ新しい学校ですが、そんな風に思っている生徒を応援する為に、日々努力しています。これまでの、そして現在の教育の常識にとらわれることなく、生徒自身の成長や変化の為に、私たちができることは何か。

学校は、もっと時代に沿って、生徒たちに寄り添って、変化していてもいい筈です。

学校は、「変わりたい」と思っている生徒の為に、「変わらなければならない」のです。

私たちと一緒に、新しい学校の創造にチャレンジしていただける皆さんからの応募をお待ちしています。

【本校の特色について】

本校は、校名からわかる通り、芸術大学の附属高校ではありますが、個々の芸術表現の技能や知識の修得ではなく、芸術や表現活動の根本にある考え方を、より多くの生徒に伝えたいと考え、設置学科は「普通科」としています。

その根本にある考え方とは、

「自分を表現すること」「周りのひとを理解すること」

のふたつです。

「自分の考えを相手に伝えながら、相手の考えにも耳を傾け、その違いを互いに認め合う」

芸術の根幹に流れるこの考え方を、これからの社会を担う多くの人に身に着けて欲しいと願っています。

●「対話型授業」の導入

その実現の為に、本校では「対話型授業」という教育手法を取り入れています。正解のない問いに対して、生徒同志が意見を出し、聞きあう。そして合意形成にたどり着く。それは、これまでの、ひとつの正解をもとめてきた勉強の仕方とは対極にある教育手法です。ここでは、絶対的な正解は存在しません。それぞれの意見の良さを認めあい、よりよい考え方にたどり着くことに重きがおかれています。また、「対話型授業」を特定の科目だけでなく、全ての科目において導入できるようにチャレンジしています。「対話型授業」の手法を身につけることは、教員としてのステップアップにつながる貴重な体験でもあると考えています。

●「大学連携」による教育

本校では「プロフェッショナル科目」という大学や専門学校の教員による授業も導入しています。様々な分野のプロフェッショナルである先生による専門的な授業を通して、生徒自身が自分の将来をイメージできるのも大学附属ならではの特色です。

また、大学と同じキャンパスにあるメリットを生かし、本校の生徒は、自由に大学キャンパスの施設を使うことが可能です。図書館、学食、カフェ、ラウンジ。一部の授業は大学施設にて行っています。一般の高校生にとって、大学施設に入れるのはオープンキャンパスの時位ですが、本校の生徒は大学施設に自由に入出入りする事で、「普通の大学生」のイメージを持つ事ができ、自分自身のキャリアを考える上で、とても大きな意味を持っています。

●「通信制高校」の仕組みを生かした新しい教育スタイル

本校では通信制高校の仕組みを使う事で、学び方や高校生活に対する新しいスタイルを生徒たちに提示しています。週3日の授業日を基本に自分で登校日数を決められる仕組みや、教員による指導

ではなく生徒たち自身が活動内容を決定し自主性を育くむ同好会活動、また校則は設けていません。元気な生徒たちの姿を見て、通信制高校に対するイメージが変わったという言葉も多く頂きます。全日制では実現できない新しい学校の姿が本校にはあると思っています。

●「安全・安心」を生み出す教員

本校の生徒からは、「先生との距離が近い」という声が、非常に多くあがります。中学校までの教員との関係性とは違ったものを感じているようです。私たちは、学校が生徒にとって「安全・安心」な場所であることを大切にしています。それは、「通学することが楽しい」「クラスに馴染んでいる」「先生が相談に応じてくれる」「相談できる友達がいる」といった心理的な側面です。多くの教員は生徒からニックネームで呼ばれています。本校の先生は、生徒にとって、学校生活や将来のことを一緒に考えるパートナーであって欲しいと思っています。

また、「対話型授業」についても、多くの生徒は「自分の意見が話せるようになった」「人の意見を聞くことの大切さがわかった」など、好意的な声がたくさん聞かれます。ただ、新しく着任された先生にとっては、初めて経験する授業方法でもあります。そこで先生方のスキルアップを図る為に、毎週実施している勉強会の中で、教員が生徒となって授業を体験するなど、授業方法に関わることに多くの時間を割いています。先生も生徒と同様に学び続ける事が大切だと考えています。

多くの生徒が、自分の高校生活をどう送るかを自分で考え、自分に合った学校を自由に選択できるようになる。そんな時代がすぐ近くに来ています。私たちは、そんな新しい時代の新しい学校になりたいと思っています。

<概要>

校 種 高等学校

課 程 通信制課程 普通科

所 在 地 京都市左京区北白川上終町 24

開 校 2019年4月1日

生 徒 数 517人 (2023年5月1日現在)

詳しくは、高校 HP をご覧ください。

<https://shs.kyoto-art.ac.jp/>

【設立母体瓜生山学園について】

学校法人瓜生山学園は、学園創設者である徳山詳直が提唱した“宇宙の万物の調和ある共存のもとに芸術の力で世界平和を実現しよう”という「芸術立国」の理念のもと、他者を思いやる「想像力」と、新たな価値を生み出す「創造力」を育み、その力を社会に役立てることのできる人間の育成をはかり、社会課題の解決と世界の平和に貢献することを使命としています。

この「藝術立国」の理念のもと、教養教育、基礎教育、専門教育の全てを通して「人間力」と「創造力」を育み、特色ある教育手法と社会連携による実践的な学びによって、新たな価値を社会に発信し続けることのできる自立した人間を育成し、設置校および各教育課程の間で教育手法、教育成果を共有し、学園全体の教育力向上に取り組んでいます。



同時に、開設当初より、世代、地域を超えた教育の提供をも目指しており、設立 30 周年を記念して宣言された「藝術立国」の中でも、「新たな 30 年の展望」のひとつとして、「世代を超え、地域を超えた芸術運動を目指す」と記されています。

短大、大学の設立に続き、通信教育部の設立により世代・地域の枠を越え、2019 年には念願であった高校の設立に至りました。現在では全体で 21,000 人を越える在校生を数える学園になりました。それでも、学園の歩みは、まだまだ道半ばです。これからも「学生ファースト」の視点を大切に、世の中の常識にとらわれず、チャレンジし続けていきます。

[沿革]

1977 年	京都芸術短期大学 造形芸術学科を設置
1991 年	京都造形芸術大学 芸術学部を設置
1996 年	大学院 芸術研究科（修士課程）を設置
1998 年	芸術学部 通信教育部を設置
2000 年	京都造形芸術大学、京都芸術短期大学を統合し、総合芸術大学に再編
2005 年	こども芸術大学を開設（付置施設）
2010 年	東京外苑キャンパス、大阪サテライトキャンパス開設
2013 年	京都芸術デザイン専門学校、京都文化日本語学校を併設校に
2019 年	京都造形芸術大学附属高等学校開校 認可保育園こども芸術大学開園
2020 年	京都芸術大学・京都芸術大学附属高等学校に名称変更

詳しくは、大学 HP をご覧ください。

<https://www.kyoto-art.ac.jp/>

【採用説明会オンライン配信のご案内】

今回の募集では、今の教育をなんとかしたい、新しい教育と一緒に考えたい、新しい教師像を実現したい、何よりもそういった想いを抱えている方を歓迎します。

9 月に行った採用説明会にはなりますが、編集したものをご希望の方に限定公開で配信いたします。ご希望される場合は、下記の採用担当アドレスまで、氏名、電話番号、メールアドレスを本文

にご記入の上、タイトルを「採用説明会配信希望」としてお申し込み下さい。

まずは、私たちの学校の事を知って頂ければと思います。



内 容 ・学校の特徴・カリキュラムについて
・生徒インタビュー

採用担当 中西 e-nakanishi@office.kyoto-art.ac.jp

【応募要領】

応募職種	教員
雇用形態	専任教諭又は常勤講師（専任登用制度あり） *エントリーシートにて、応募区分を必ずご記入下さい。
対象教科	英語・国語
職務内容	科目担当（スクーリング、添削、試験等）、クラス担任（又は副担任）、学校設定科目コーディネート、分掌業務等 *先生方には教育・生徒指導業務に注力して頂けるように役割分担しながら、教職員全員で新しい学校を創っていきます。
勤務地	京都芸術大学附属高等学校（京都市左京区北白川上終町 24） その他本校が指定するキャンパス等
着任日	2024年4月
募集人数	1名
応募資格	①大学卒業または、大学院修士課程修了の者 ②2024年3月に大学卒業見込み、または大学院修士課程修了見込みの者 ③上記着任時に、該当の高等学校の教員免許所持者 （担当可能な科目については、全てエントリーシートにご記入下さい。） *本学園では65才定年制（65才の誕生日を迎えた年度末）となっておりますので、着任時65才未満の方を対象とさせていただきます。
応募方法	下記＜応募書類＞一式を、郵送にてご提出下さい。 ①教員採用エントリーシート A（本学指定書式）

教員採用エントリーシート B (本学指定書式)

*分掌主任・学年主任等主任等の経験がおありの方はエントリーシート A にてご応募下さい。ご経験がない方は、エントリーシート B にてご応募下さい。

なお、エントリーシート A にて応募され、内定となった場合でも、主任等としての着任でない場合もあります。

*エントリーシートは京都芸術大学ホームページよりダウンロードして下さい。

京都芸術大学 HP 教職員募集 <https://www.kyoto-art.ac.jp/info/recruit/>

②職務経歴書 (任意書式、A4 サイズ)

③志望理由書 (任意書式、A4 サイズ、1 ページ以内)

「現在の中等教育において課題だと思うこと」「本校でチャレンジしてみたいこと」を踏まえて、ご記入下さい。

④教員免許状又は取得見込書 (写し)

⑤ (2024 年 3 月卒業・修了の場合) 卒業 (修了) 見込書と成績証明書

*職務経歴書、志望理由書には、指定書式は設けていませんが、A4 サイズの用紙でお願い致します。

*応募書類は返却いたしませんので予めご了承下さい。

*応募にあたってご提出頂いた個人情報には本学園規定にしたがい適切に管理し、採用選考の目的以外に使用しません。

応募期間 <随時> *採用が決定した時点で終了となります。

選考方法 ①書類選考 到着順に随時選考致します。

②一次面接 書類選考合格者に個別に連絡致します。

*筆記試験あり

③二次面接 (最終選考) 一次面接合格者に個別に連絡致します。

*面接の際の交通費等の支給はありませんのでご了承下さい

応募宛先 〒606-8252

京都市左京区北白川上終町 24

京都芸術大学附属高等学校 採用担当

※封筒の表面に「教員応募書類在中」と朱書きしてください。

【勤務条件／待遇】

☆本校では、常勤講師の待遇は契約期間以外専任教諭と同じです。

給 与	モデル給与	月額	大学新卒	219,600 円
			中途採用 (30 歳)	294,400 円
			(40 歳)	385,400 円

※中途採用の場合、職歴をもとに本校規定により決定致します。

賞 与 年 2 回 (6 月、12 月)

理論年収	(入職 2 年目) 大学新卒 2 年目 3,544,320 円 中途採用 (31 歳) 4,742,400 円 (41 歳) 6,102,720 円 ※入職 1 年目の 6 月賞与は満額支給ではありませんので、標準考課となった場合の入職 2 年目の理論年収となります。 ※これには下記諸手当は含みません。
諸 手 当	住宅手当 15,000 円 (但し、世帯主であること) 家族手当 18 歳未満の子 / 10,000 円 障害等級 1 級、または要介護 3 以上 / 5,000 円 (但し、規程に定める被扶養者であること) 通勤手当 本学規程を基に 6 か月定期代支給 (4 月、10 月支給 / 限度額 : 月額 35,000 円)
勤務時間	9 : 00 - 17 : 30 ※但し変形労働時間制を採用していますので、時期により変更となります
勤務地	京都市左京区北白川上終町 24 京都芸術大学附属高等学校 その他本校が指定するキャンパス等
契約期間	専任教諭 期限の定め無し 常勤講師 3 年を上限とした単年度契約
休日休暇	週休二日 * 休日に学校説明会等学校行事がある場合は振休取得 年次有給休暇 初年次 10 日 その他 年末年始休暇、特別有給休暇 (慶弔、産前産後等)、育児・介護等 他
社会保険	健康保険・年金は、日本私立学校振興・共済事業団に加入 雇用保険、労災保険 加入
退職金	有り
人事制度	人事考課 報酬については人事考課を反映した給与体系を導入しています。 専任登用 常勤講師の方対象に、本人の適性、能力等を判断し専任登用する制度があります。 研修制度 本校では授業研究をはじめとした様々なテーマにて毎週 1 回の勉強会を実施しています。
備 考	受動喫煙対策あり : 敷地内禁煙 (屋外に喫煙場所設置) 試用期間を 3 ヶ月とする (試用期間中も待遇は同じです)

問い合わせ先 京都芸術大学附属高等学校 採用担当 中西
e-mail : e-nakanishi@office.kyoto-art.ac.jp
T E L : 075-791-9454 (平日 9 : 00 - 17 : 30)

■ご応募の前に、必ず大学ホームページより、『京都文藝復興』『藝術立国』をご一読下さい

『京都文藝復興』 <https://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/hukkou.pdf>

『藝術立国』

<https://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/artsnation.pdf>

『高校 HP』

<https://shs.kyoto-art.ac.jp>